



せせらぎには浅瀬やたまりをつくり自然に近い形態としている



地域住民による野草の植え付け風景



昭和初期に植えられた桜が見事な並木に生長している

10 ふれあいの水辺(北沢川緑道)



「ふれあいの水辺(北沢川緑道)」は、河川が都市化とともに暗渠化され、水辺空間が減少した地域に、自然豊かなせせらぎを復活させることを目的に整備が進められた。また、世田谷区の代沢地区には昭和初期に農業用水として利用されていた北沢川があり、同じ頃に植栽された桜が並木となつて残っており、こうした自然資源も取り込んで整備が行われた。

せせらぎの水源には、下水道処理水を凝集濾過及びオゾン処理したものを使用し、安全で安定した水質と水量を確保している。護岸には、生物がすみやすいように蛇籠や丸太、植生ロールなどを使用して自然に近い状態を考慮したほか、多種類の植栽を施している。また、施設の一部を実験区として、住民の管理団体が植物を植えたり、メダカなどの育成を行っている。

整備を進めていく段階では、住民参加による会議が開催され、整備案や維持管理などが話し合われ、その内容はミニコミ紙にして地域住民に配布する形で告知が行われた。

DATA・BOARD ⑩

- ①東京都世田谷区代沢3-2
- ②延長：150m、水路平均幅員：1.0m
- ③小田急電鉄下北沢駅から徒歩15分、首都高速道路三軒茶屋1Cから車で約10分
- ④代沢せせらぎ公園
- ⑤自然観察会

